

AWSを「知ってる」から「使える」へとステップアップする第一歩

AWSサーバ構築演習

主催 株式会社浜名湖国際頭脳センター

世界で最も利用されているAmazon社のクラウドサービス「AWS」は、クラウド上での管理やサービス提供を考える上で欠かせないものとなっています。

本講座は、「AWSを知っているだけでなく構築できるスキル」を身につけるための第一歩として、**3つのテーマでの演習の機会**を設けたものです。「AWSの機能を学んだので、今後使えるようになっていきたい」「自分のAWSのスキルを試したい」という方に最適な講座です。

AWSクラウドサービス活用に向け、本講座をご検討ください。



開催概要

【日程・テーマ】ご希望のテーマを選択いただけます／複数受講も可能です

テーマ		日程(令和5年)
テーマ1	Webサーバの構築	2月 3日(金) 13:00~17:00
テーマ2	VPCの作成とコンテナサーバ	2月 8日(水) 13:00~17:00
テーマ3	LambdaからS3へのアクセス	2月17日(金) 13:00~17:00

*詳細は、裏面カリキュラムをご参照ください。

【方 法】 Zoom によるオンライン開催

【対 象】 AWSの機能を学び、実際に使えるようになりたい方
AWSを業務で活用するために実践経験を積みたい方
独学で学んだAWSのスキルが使えるか試してみたい方

【スキル要件】 ・Linuxの基本操作ができる
・TCP/IPの基礎知識がある
・HTMLの基礎知識があれば尚可

【定 員】 15名(最少催行人員6名) *定員になり次第、〆切ります

【講 師】 (株)NOWVILLAGE(東京都) 講師

【受講料】 各テーマ24,200円/名(税込)(税別22,000円)

* 弊社主催「AWSサーバ構築講座」または「コンテナサーバ構築講座」*ご受講者
19,800円/名(税込)(税別18,000円)

※「AWS サーバ構築講座」(令和4年7月7日・8日または令和3年7月15日・16日開催)
「コンテナによるサーバ構築講座」(令和4年8月9日開催)

【条 件】 以下を受講環境としてご準備ください。

○インターネット環境 ○パソコン(カメラ・マイク機能があるもの)

*外部サーバへのアクセス、ソフトウェアのインストールに制限がない環境でご参加ください。

【お申込】 メールでお申込いただけます(裏面をご参照ください。)

(申込〆切)・テーマ1…1月23日(月)・テーマ2…1月27日(金)・テーマ3…2月6日(月)

*キャンセルにつきましては、裏面「キャンセル及びキャンセル料について」をご参照ください。

【お問合せ先】 株式会社浜名湖国際頭脳センター 担当:米良・佐藤

TEL:053-416-4002 / Mail:jinzai@hamanako.co.jp

[カリキュラム]

テーマ1「Web サーバの構築」(2月3日(金)13:00~17:00)

目標 ①AWS上にEC2を使ったサーバを構築できるようになる。

②EC2を使ってWebサーバを構築できるようになる。

要件 ・OSはLinux(Amazon Linux系で良い)を使用する。

・ssh接続が必要になった時のために、新しいキーペアを作成して保存しておく。

・Apache をインストールして Web サーバとして外部からアクセスできるようにする。

・ホームページとして「Hello world!!」という文字列を表示するファイルを用意する。 など

テーマ2「VPC の作成とコンテナサーバ」(2月8日(水)13:00~17:00)

目標 ・AWS上にVPCを作成できるようになる。

・EC2によるコンテナ(Docker)サーバを構築できるようになる。

・AWS上でロードバランサーを構築できるようになる。

要件 ・DockerをインストールしたEC2インスタンスを2台接続して負荷分散を行う。

・EC2インスタンスは、デフォルトのVPCではなく新たに作成しVPCに接続する。

・EC2で使用するOSはLinux(Amazon Linux2など)を使用する。

・ロードバランサーは、Application Load Balancerを使用する。 など

テーマ3「LambdaからS3へのアクセス」(2月17日(金)13:00~17:00)

目標 ・AWSのLambda上にPythonで関数を作成できる。

・Lambda上に自分で作成したPython関数からS3に格納したオブジェクトにアクセスできる。

要件 ・S3に新規にバケットを作成し、オブジェクトを格納する。オブジェクトは任意の文字列を記入したテキストファイルなど簡単なもので良い。

・Lambda上にPythonで関数を作成する。

・関数は、boto3ライブラリを使ってS3にアクセスし、格納してあるオブジェクトを取得する。

・テストは、Lambdaのコンソールからテストボタンをクリックして実施する形で良い。 など

[お申込方法] 申込〆切 テーマ1…1/23(月) テーマ2…1/27(金) テーマ3…2/6(月)

■送信先 jinzai@hamanako.co.jp

■件名 「AWSサーバ構築演習申込」

メールに以下をご記載の上、お送りください。

(1) 貴社名

(2) ご住所(郵便番号)

(3) ご担当者 お名前(ふりがな)／部署・役職／電話番号／メールアドレス

(4) ご受講者 お名前(ふりがな)／部署・役職／メールアドレス／ご希望のテーマ番号

(5) 「AWSサーバ構築講座」「コンテナサーバ構築講座」を受講された方は、講座名・参加年をご記載ください。

* 受講者が複数名いらっしゃいましたら、人数分ご記載ください。

* 受講者と担当者が同じ方でしたら、その旨ご記載ください

* お送りいただいた情報は、本講座のご連絡のほか、今後の情報提供で利用する場合がございます。



キャンセル及びキャンセル料について

・キャンセルされる場合には、講座開催日(複数日開催の場合は開始日)10日前の17:00までに、メールまたはお電話でご連絡ください。それ以降のキャンセルにつきましては、原則として受講料の全額をご負担いただきます。

・受講者の変更は、キャンセル料は発生いたしません。